

# 直轄軟式野球同好会 活動報告書要約

2017年6月—2017年9月

## 【報告団体】

アーチェリー部、合気道部、フェンシング部、アメリカンフットボール部、  
オリエンテーリング部、空手道部、弓道部

## ◎調査内容

- ・バッティング練習
- ・ポジションごとのノック
- ・キャッチボール
- ・練習後

## ◎良い点

- ・練習をまじめに行っていた。熱心。
- ・マネージャーに時間が管理されたメリハリのある練習をしている。
- ・声出し、挨拶がしっかりしている。
- ・部員同士のコミュニケーションが取れている。
- ・メニュー間の片づけ・準備を全員で行っている。
- ・指示後の反応が早い。
- ・熱中症対策をきちんと行っている。
- ・けが人が出た際の対応が迅速であった。
- ・テスト期間中でも20名ほどの参加者がいた
- ・練習後に自主練習を行っている部員が数名いた。
- ・小雨でもある程度の参加者がいた。

## ◎改善すべき点

- ・指定された時間に練習が開始されていなかった。
- ・ベンチやフェンス周辺にごみが散乱している。
- ・代表者のメールの返信が全く返ってこないもしくはほとんど帰ってこない。
- ・川内グラウンドの使用にあたっての会議に参加していない。
- ・打ち損じたボールを放置しており危険。
- ・投手に球を供給する人に打球が当たっていた。

◎疑問点

- ・バッティング練習で飛んで行ったボールの回収は行っているのか。
- ・8月について、お盆期間とはいえ練習日程が三日のみというのは少なすぎるのではないか。  
長期休暇のほうが普段よりまとまって練習できるのではないか。
- ・練習が始まってから途中合流する部員がいたが、練習の参加について部内ではどのような認識なのか。

◎その他

- ・備品の状態が悪く購入する資金の必要性を感じた。
- ・活動調査を行うにあたり、きちんと練習風景が見られるような調査時間を設定すべき。

◎アドバイス

- ・学友会に加盟するならば練習以外でのことも見直すべき。
- ・式典や代表委員会への出席、また部活外との連絡が増えるため意思疎通の確認をしっかりと行うべき。
- ・学友会に加盟することが大学を代表するという名誉と責任の伴うことを十分に認識したうえで活動を今一度見直し、練習に励んでいただきたい。

◎活動頻度 《軟式野球同好会提供の資料より抜粋》

月	火	水	木	金	土	日
個人練習	個人練習		全体練習		全体練習	

他、大会期間中以外は月二回他チームとの練習試合をしている。

〈年間スケジュール〉

4月	全日本軟式野球選手権地区予選
5月	新入生歓迎会
6月	全日本野球選手権東北大会(5/31-)
8月	夏合宿
9月	東日本軟式野球選手権東北大会
10月	東北大リーグ
12月	オフ期間
1月	
2月	
3月	引退試合・卒業生送別会

作成日 2017/11/8

作成 学友会体育部常任委員会総務局